

発生源調査の現状と今後の予定

1 調査目的

PM2.5の発生源別寄与割合を推定するため、排ガス、排気及び粉じん中のばいじん、浮遊粒子状物質(SPM)、PM2.5及び凝縮性ダストの濃度、成分を把握することを目的とする。

2 調査期間

平成20年11月～平成21年3月末(予定)

3 調査対象

以下の類型から合計約20種類を対象とする。

- (1) ガス、重油等の燃焼施設
- (2) 廃棄物焼却炉
- (3) 自動車
- (4) 厨房排気
- (5) 巻上げ粉じん
- (6) その他

4 調査内容

(1) 調査項目

ばいじん、SPM、PM2.5、凝縮性ダストの濃度及び成分

(2) その他関連調査

調査対象の規模等、排出口からのPM2.5等の排出量との相関関係を得るための情報を調査する。

5 調査方法

排ガスの最終排出口付近の測定口又は最終排出口から、ばいじん、SPM、PM2.5及び凝縮性ダストを同時に採取する。

6 分析方法

ばいじん、SPM、PM2.5、凝縮性ダスト 共通

質量濃度	秤量
イオン成分	イオンクロマトグラフ法
金属成分	中性子放射化分析法
炭素成分	サーマルオプテカル・リフレクタンス法

○平成 20 年度 調査対象一覧

No.	調査対象	原燃料等	採取期間(準備、撤去含む)
1	ボイラ	都市ガス	平成 20 年 11 月 17 日～21 日
2	ボイラ	重油	
3	電気炉	鉄くず	
4	廃棄物焼却炉	都市ごみ	平成 20 年 12 月 1 日～5 日
5	廃棄物焼却炉	都市ごみ	平成 20 年 12 月 8 日～12 日
6	廃棄物焼却炉	下水汚泥	平成 20 年 12 月 15 日～19 日
7	廃棄物焼却炉	下水汚泥	平成 20 年 12 月 22 日～26 日
8	ガスタービン	都市ガス	
9	厨房	食堂	
10	厨房	一般家庭	
11	地下街	店舗・地下道・駐車場	平成 20 年 11 月 25 日～28 日
12	自動車	ガソリン	
13	自動車	軽油(長期)	平成 20 年 8 月 13 日
14	自動車	軽油(新長期)①	平成 20 年 6 月 25 日
15	自動車	軽油(新長期)②	平成 20 年 7 月 31 日
16	自動車	軽油(新長期)③	平成 20 年 12 月 10 日
17	粉じん	一般環境	
18	粉じん	道路沿道	
19	(調整中)		
20	(調整中)		

※網かけは、試料採取済みのもの